



人員不足が懸念される
市道の除草への対応は



問／市道の維持管理において道路の除草は欠かせないが、高齢化に伴う人員不足により作業が困難な状況にある。薬剤散布と草刈りを併用した除草を行う考えはないか。

答／車両通行及び交通安全のため重要な業務である。高齢化による人員不足で作業継続に支障がある状況も散見される。除草剤散布の併用も有効と認識しているが、「上越市環境行動計画」において、「市道では除草剤を使用せず、草刈り機により除草する」と定め、公共用水域の水質汚濁防止や生態系保全の観点から除草剤の併用は現時点で考えていない。更に除草作業の継続が困難となった場合は、地元事業者等へ委託する等の対応を考えていく。

問／業者委託による除草作業においても、人員不足や大型草刈機の不足で作業の遅れや良好な道路維持管理に支障を来している。地元業者への草刈機の貸出制度を創設する考えはないか。

答／現在委託している市道除草は、約345kmあり、20の建設事業者が行っている。限られた人員のため、地域の方々が希望する時期での実施が困難な状況になっている。大型除草機械の導入の効果は大きいですが、受託事業者から希望する声がないことから、現時点で貸出制度を創設する考えはない。引き続き適切な除草作業の実施に取り組み、市道の維持管理に努めていく。



イルカ連続死の
検証結果は



問／イルカの死亡原因はプールの大きさ（表面積）ではないのか。

答／鯨類飼育環境の検証において、水槽サイズが死亡要因となった可能性とするまでには至らなかった。

問／風よけ、日よけの設置後、6頭体制に戻し、パフォーマンスを続けるのか。



八景島のアクアスタジアム

答／通年での鯨類の飼育展示を基本とした管理運営計画と6頭体制での施設や設備を備えており、必要不可欠と考えている。検証結果の提言を踏まえ、指定管理者とともに対応していく。

古城小学校統合後の校舎利活用は

問／校舎の利活用をどうしていくのか。

答／行政や地域による利活用がなければ、サウンディング調査やプロポーザルなどにより、民間による利活用を検討する。企業誘致活動を行う中で、相手のニーズに合う施設を積極的に紹介していく。



古城小学校周辺



百年後も桜の名所であり続けるために

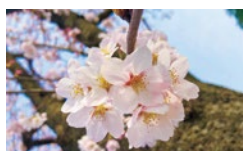


問／大雪による高田城址公園の桜の被害状況は。答／公園内にある約2千本のうち全体の約36%である764本に枝が折れる等の被害があった。

問／桜の被害状況をどう捉えているか。答／エリアごとに被害状況を確認し、公園内よりも道路沿いで被害が多い傾向にあった。

問／桜の修復状況はどうか。作業は2人の桜守だけで行い、業者等を入れていないのか。

答／公園管理人等とともに行い、3月16日で73%完了し、26日まで100%の作業完了を目指す。



コロナ禍における避難所設営は

問／新年度予算では、感染症対策に必要な機材の補充としてダンボールベッドが計上されているが、他に防災テントの購入は考えているのか。避難所において防災テントはプライバシー確保や衛生面でも高い効果があると考えられるか。

答／ダンボールベッドに固執せず防災テント購入も検討していく。

問／地域の防災力向上には、防災士を有効活用し、行政主体から防災士を中心とする住民主体で行う避難所設営訓練をすべきと考えられるか。

